

絆

K I Z U N A

2023 MAY

JAグループ青森 月刊広報誌 [917号]

5





仕事の
休憩中に

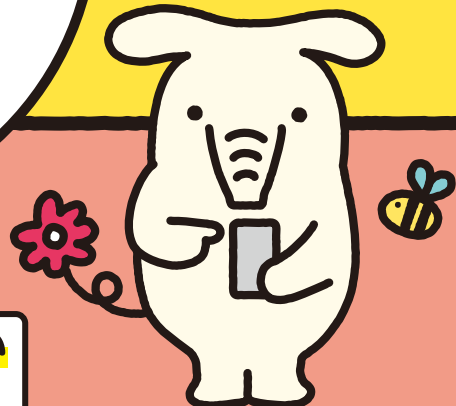


土日祝日
でも

JAバンクアプリなら
**税金支払い、
スマホで
完了!**



窓口やコンビニに
行かなくても



忘れない
うちに

©よりぞう



JAバンクアプリのPayB機能で払込票バーコード・QRコードを読み取って、

JAバンクアプリの
ダウンロードはこちらから

税金等を簡単にお支払い

※税金、公共料金、その他民間企業のコンビニバーコード収納払い等。対象の払込票は
ビリングシステム株式会社のホームページをご覧ください。▶<https://payb.jp/public/>
※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



自動車税

軽自動車税

固定資産税

都市計画税

ほぼすべての地方公共団体の納税ができます

払込可能な地方公共団体等はビリングシステム株式会社ホームページ(<https://payb.jp/>)でご確認ください。



PayB機能の利用で

キャッシュバックキャンペーン実施!

詳細は2023年4月以降、こちらのビリングシステム株式会社*
ホームページ(<https://payb.jp/>)でご案内します!

*本キャンペーンはPayBを運営するビリングシステム株式会社が開催するものです。キャンペーンについてはビリングシステム株式会社宛てにお問い合わせください。





J Aバンク青森の目指す姿の実現に向けて ～J Aバンク青森中期戦略の実践初年度を振り返って～

J Aバンク青森では、県内各J Aの現状や課題、取り巻く環境等に応じて、「農業」・「暮らし」・「地域」の各領域で、これまで以上に金融仲介機能を発揮することを柱に掲げた「J Aバンク青森中期戦略（2022～2024年度）」に取り組んでおり、実践初年度の2022年度は、コロナ禍や物価高、自然災害などの社会情勢の変化に対応しながら各領域で掲げた施策の実現に取り組んでまいりました。

まず「農業」の領域では、農業者の経営の安定・成長を支援するため、J Aバンク利子補給、農業近代化資金の保証料助成を実施したほか、個人・農業法人先および行政、農機具メーカーへのアプローチや営業戦略会議等を通じて融資担当者の資金提案力の向上および新規・既往先等との接点強化に取り組みました。また、ウクライナ情勢に端を発した生産資材等の急激な価格高騰や8月の豪雨災害で被災された組合員の資金繰りを支援するため、県内J AとJ Aグループ青森四連が連携して各種災害緊急資金を創設し、被災組合員をはじめ県内農業者の再生産に必要な農業資金の供給に取り組みました。

つぎに「暮らし」の領域では、組合員・利用者の資産形成・運用ニーズに対応し、個人型確定拠出年金「iDeCo」の取扱いを開始したほか、ライフイベントセールスリーダー養成講座に資産形成サポートカリキュラムを追加し、渉外・窓口担当者の行動変革とスキル向上に取り組みました。一方で、生活資金の貸出伸長については、メイン商品である住宅ローンを中心に、ハウスメーカー訪問や商品説明会の実施などに力を入れました。

そして、「地域」の領域では、デジタルの利活用が利便性向上の必須スキルとなる中、地域の利用者・組合員への貢献および関係性深化の取組みの一環として「J Aスマホ教室」を開催し、スマホ初心者等の利活用をサポートしました。

また、これらの機能を最大限に発揮するための土台である業務効率化において、J A個人ネットバンク、J Aバンクアプリ、通帳レス口座などの非対面チャネルの機能強化と取引拡大に取り組んだほか、不断の取組みとして位置付けている持続可能なJ A経営基盤の確立・強化に向けて、J Aバンク利用者満足度調査、J Aバンクモニター調査を実施し、組合員・利用者ニーズや課題等の把握に努めました。

迎えた2023年度は、3か年にわたる中期戦略の成果を左右する重要な1年になります。

J Aバンク青森は、目指す姿の実現に向けて、これまでの成果や足元的情勢等を踏まえ、各領域の取組みをさらに加速させるとともに、地域の課題に応じた新たな取組みにも果敢にチャレンジし、引き続き地域利用者から確かな信頼を獲得できるよう取り組んでまいります。

J Aバンク青森

絆 ⁵ 目次 KIZUNA CONTENTS

巻頭言	1	経営の窓口	14
フラッシュ	2	組織農政通信	15
インフォメーション	4	J AおいらせNEWS	16
東北農政局通信あおもり	11	輝き・すすめ！SDGs・催事カレンダー	17
実践農業者支援	12	誉（ほまれ）	18